

知財最前線で活躍する審査官

知財をとりまく環境は、ここ数年で大きく変化しました。知財関連記事が新聞に掲載されることも珍しくなくなり、知財への高い関心は、いまや日常的なものとなりつつあります。そして、知財に関連すると認識される領域が、乾いた土にしみ込む水のようにあらゆる方向へと拡大するとともに、知財に関わる人材はその重要性を増しています。

これまでも特許庁の審査官・審判官は、審査・審判業務のみならず、その経験と能力を活かして様々な分野で活躍してきました。そして今も、関連領域の拡大と知財人材への期待の高まりの中、各方面で多くの審査官・審判官が奮闘しています。

本特集では、現在、知財最前線で活躍する審査官・審判官に、活動の一部を紹介していただきます。

今回、紹介してくださるのは次の方々です（掲載順、敬称略）。

政策研究大学院大学 助教授

在ジュネーブ国際機関日本政府代表部 一等書記官

経済産業省産業技術環境局大学連携推進課 課長補佐

ワシントン大学ロースクール在籍

安田 太

夏目 健一郎

加藤 幹

武重 竜男